

企業を育み地域を潤すエリアネットワーク通信

さがみはら商工会議所 会報 SAGAMIHARA CHAMBER of COMMERCE and INDUSTRY.

産業界の活力で新相模原を創出
会員とともに行動、変革、そして未来へ

2015年3月号 No.488



今月の主なNEWS

当所から11名が受賞

第62回優良産業人表彰 p5

- (A) 地域商工業の発展に寄与 神奈川県優良産業人表彰受賞者 5
- (B) 県内商工会議所連携ビジネス交流会を開催 5
- (C) 工業部会会員交流大会で新たな人脈づくりを構築 5
- (D) 「瀧川鯉昇」師匠を招き はやぶさ寄席2を開催 6

日相印刷「学習パズルぴーしーず」の記事が掲載されました。

会員紹介 わが社のいち押し



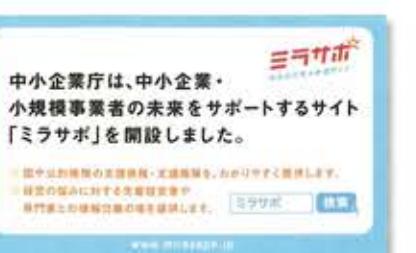
開発に携わった荒井さん(左)と村上さん(右)

■書き込める学習パズル
「ぴーしーず」は相模原の22地区と3区のシンボルマーク、マスクットキャラクター4体の計29ピースで構成されています。各ピースには各区のイメージカラーと地区名が記されているだけで、あえて無地にしています。

「自由に書き込みます。紙ベースの地域情報プラットフォームのような商品です」と、プランニングマネージャー・荒井慶太さんは説明します。パズルゲームとしてスピードを競うのがオーソドックスな遊び方ですが、それ以外にも何通りかあります。期間限定(3月まで)で購入時にガイドブックとともに無料配布される「ぴーしーずカード」と組み合わせることで、「かるた」として楽しめます。カードの裏面に書かれた問題を読み上げ、答えとなる地区的ピースを選ぶことで、地域の特色を遊びながら学べます。

たのが「相模原WIN-WIN計画」です。同社が今後100年企業を目指すにあたって策定した「たつて策定した「ひーしーず」に対する考え方方に多くの企業が楽ししながら地域を学べるため、相模原を全国区、世界区にする手段として相模原をプランディングする」とが、自社のプランディングにもつながりっています。

「お子さんだけでなく、ご家族でも楽しめます。ほかにも、相模原を知るためにおみやげや留学生などの学習素材、さらには認知症などの予防にも役立てほしいと思っています」(荒井さん)と、普及に向け奔走しています。



相模原市南区麻溝台8-12-7
042-748-6020

わが
社の
『いち押し』

（株）日相印刷

「ぴーしーず」を使って遊べば遊ぶほど、地域を知ることができます。また、同社が開設しているサイト「さがみはら ぴーしーず情報局」でも、さまざまな楽しみ方を紹介しています。

■地域とともに成長へ

今年で創業51年目になる日相印刷ですが、その社名は、日本の相模。に由来します。創業以来、印刷という紙メディアを通して地元・相模原に貢献したいという思いがあります」と、荒井さんは力を入れています。

印刷会社として「紙が持っている可能性」にこだわったもので、パズルとして遊べるだけでなく、紙の質感を楽しむ「紙触効果」や「脳トレ」の効果も期待しています。発売後、市を通して市内の子どもセンター、児童館など100カ所へ寄贈されました。

今回、同社が地域貢献として開発した「ぴーしーず」に対する考え方方に多くの企業が楽ししながら地域を学べるため、相模原を全国区、世界区にする手段として相模原をプランディングする」とが、自社のプランディングにもつながりっています。

「お子さんだけでなく、ご家族でも楽しめます。ほかにも、相模原を知るためにおみやげや留学生などの学習素材、さらには認知症などの予防にも役立てほしいと思っています」(荒井さん)と、普及に向け奔走しています。

もともと開発のきっかけは、昨年8月になります。市制60周年を迎える相模原市の担当者から記念商品の企画の話を聞き、「社内でやってみよう」となりました。同社にとって、自社製品。を出すのは、実際に30年ぶりのことです。そして昨年10月に完成、発売しました。価格は800円(税込み)。

「紙」の持つ効果を期待する」と考えています」と。 「ぴーしーず」も、そうした試みの一環といいます。